

平成 21 事業年度

公立大学法人岩手県立大学の業務の実績に関する評価結果

平成 22 年 8 月

岩手県地方独立行政法人評価委員会

1 はじめに

本評価委員会においては、平成 18 年 5 月に策定した「公立大学法人岩手県立大学に係る各事業年度業務実績評価実施要領」に基づき、
① 平成 21 事業年度における中期計画の実施状況の調査
② 当該事業年度における中期計画の実施状況の分析
③ 業務の実績全体についての総合的な評定
を内容とする評価を行った。(評価の具体的な方法は下記のとおり)

記

(1) 全体評価

以下の「項目別評価」の結果及び中期計画の達成状況を踏まえ、中期計画の全体的な進捗状況及び業務の実績全体について総合的な評価を行った。

(2) 項目別評価

法人による自己評価の結果を基に、法人からのヒアリング等を通じて、年度計画に照らして進捗状況を確認し、自己評価の妥当性の検証と評価を行った。

なお、教育研究等の質の向上に関する項目については、教育研究の特性への配慮から、専門的な観点からの評価は行わず、取組の外形的・客観的な進捗状況の観点からの評価を行った。

また、評価委員会が認める「A A 評価（特筆すべき進行状況にある）」については、

- ① 年度計画に掲げる取組を達成しつつ、更に中期計画に沿った取組が付加・実現され、
- ② 取組の結果、何らかの成果が明らかになっているものを対象とした。

(A A 評価の例)

- ・年度計画において、「制度の創設」を当該年度の取組としていたものについて、実績において「制度を創設」したことに加え、「制度を運用」した場合
- ・積極的な県内企業訪問の結果、県内求人数が増加した場合など

2 全体評価

(1) 総評

年度計画及び中期計画は「概ね計画どおり進んでいる」と認められる。

○ 平成 21 事業年度においては、年度計画に掲げる取組 153 項目中、「A 評価（計画どおり進んでいる）」以上の項目が 84.3%（129 項目）と、A 評価が占める割合がこれまでより若干低下したものの、1 項目を除く全ての項目が「B 評価（概ね計画どおり進んでいる）」以上と評価され、年度計画全般において順調な取組が行われたものと評価できる。

	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度
A 評価以上	66.7%	75.9%	84.5%	90.1%	85.0%
B 評価	16.1%	16.1%	11.7%	4.7%	14.4%
C 評価	12.8%	7.7%	3.8%	5.2%	0.7%
D 評価	4.4%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%

○ また、平成 19 事業年度以降「D 評価（重大な改善事項がある）」と判断される項目がなく、また、「C 評価（やや遅れている）」と判断される項目も 1 項目しかないことは、中期計画の全体的な進捗状況に遅れのある部分ではなく、ほぼ全般を順調に進捗させていると判断される。

○ さらに、中期計画に掲げる取組において、平成 20 事業年度までに 85 項目が「達成された」と認められていたが、平成 21 事業年度においては、新たに 89 項目が「達成された」と認められ、中期計画の全 249 項目に対して合計で 174 項目が「達成された」と認められることは、中期計画期間を 1 年残す今事業年度において、大いに中期計画を達成させる取組を進めていると判断される。

○ しかしながら、「中期計画に掲げる方策」のうち、

- ・地域における国際交流活動充実のための取組
- ・人件費管理や効果的かつ効率的な人的資源配分についての取組

については、依然として全体に比して若干の遅れが認められるため、取組

を重点的に進めることに加え、次期中期目標における課題として取り組む必要がある。(別表 1 参照)

- なお、大学院の定員が依然として充足しておらず、大学院で学ぶことによる成果を明確化させる等魅力ある教育研究を充実させ、定員確保に向けて更に努力するとともに、次期中期目標を見据えて、現在の研究科体制による大学院教育の必要性や適切な定員規模についての議論を進める必要がある。

(2) 各分野における平成 21 事業年度の取組

大学の教育研究、地域貢献等に関しては、

- ① 「I P U 地域づくりプラザ」のホームページや各種研究成果発表会を積極的に開催することにより研究成果の地域還元に努めるとともに、提言・政策提案を行う体制を構築させたこと
- ② 大学と岩手県、産業界とで提案した地域産学官共同研究拠点事業について JST の採択を受けたこと
- ③ 看護学研究科において、「がん看護専門看護師教育課程」の認可を受け、時代と地域からの要請が強い高度な専門教育を拡充させたこと
- ④ 社会福祉学部において各地域と共同で実施するプロジェクトをの立ち上げや共同研究の実施等により地域に密着した実践教育と専門家の育成や地域貢献が図られたこと
- ⑤ ソフトウェア情報学部において第 5 回いわて情報産業シンポジウムの開催などにより企業や地域との交流が積極的にすすめられたことなど、地域の課題に向き合った研究活動に積極的に取組み、県立大学としての特色ある取組や創意工夫、またそれによる効果が認められ、高く評価できる。

3 項目別評価

I 大学の教育・研究などの質の向上に関する目標を達成するためにとる措置

⇒「概ね計画どおり」。特に「A 評価（計画どおり進んでいる）」以上の項目が 87.4% を占めていることは、高く評価できるが、「C 評価」と認められる項目が唯一あることから、一層の取組が望まれる。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとる措置

⇒「概ね計画どおり」。しかしながら、他の区分に比して、「A 評価」以上の項目の割合が 55.6% と低く、一層の取組が望まれる。

III 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとる措置

⇒「計画どおり」。今事業年度は 1 項目ののみの取組であったが、その項目が「A 評価」と認められることは、高く評価できる。

IV 自己点検・評価・改善及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとる措置

⇒「概ね計画どおり」。特に「A 評価（計画どおり進んでいる）」以上の項目が 83.3% を占めていることは、高く評価できる。

V 施設設備の整備、安全管理等の目標を達成するためにとる措置

⇒「概ね計画どおり」。特に「A 評価」以上の項目が 83.3% を占めていることは、高く評価できる。

X 岩手県地方独立行政法人法施行細則で定める業務運営に関する事項

⇒「概ね計画どおり」。特に「A 評価」以上の項目が 75.0% を占めていることは、高く評価できる。

※ VI～IXについては、平成 21 事業年度は年度計画の設定なし。

(1) 項目別評価の状況及び「A A 評価(特筆すべき進行状況にある)」の取組

別表 2 のとおり

(2) 自己評価から評価が変更になった項目及びその理由

別表 3 のとおり。

(3) 改善が望まれる取組について

盛岡短期大学部における二級建築士模擬試験についての取組が唯一「C評価（やや遅れている）」と認められ、取組の需要や必要性を検討し、取組内容を見直す必要がある。

【別表1】全体に比して若干の遅れが認められる方策

「中期計画に掲げる方策」のうち、下記の基準により判断したもの。

【基本的な判断基準】 平成17～21事業年度を通じてA評価とされた事業年度がなく、かつC又はD評価とされた事業年度がある方策

中期計画に掲げる方策	現状・課題	H21	H20	H19	H18	H17
I. 大学の教育・研究などの質の向上に関するもの						
本学の実践的教育研究活動としての国際交流を、地域における国際交流活動に生かします。	平成21年度から国際交流の窓口を教育・学生支援本部に一元化し、情報を集約化し全学的な取組を進めている状況。双方向の国際交流の取組を拡充するため、さらに全学的な取組を推進するとともに、大学としての国際交流の方針を明確化する必要がある。	B	C	C	B	C
II. 業務運営の改善及び効率化に関するもの						
中長期的な観点に立って定数管理等の計画を策定し、専門性の高い人材の確保・養成や人員（人件費）の適切な管理、効果的かつ効率的な人的資源配分等を推進します。	人件費（定数）管理計画策定に向け理事会議において検討を重ねており、今年度中の策定を目指している状況。次期中期目標等の検討と併せて効果的・効率的な人的資源配分を検討する必要がある。	B	B	C	D	B

【別表2】項目別評価の状況及びAA評価（特筆すべき進行状況にある）の取組

評価の判断基準

法人の実績報告において「特記事項」として報告されているもののうち、下記と認められるもの

- ①年度計画に掲げる取組を達成しつつ、更に中期計画に沿った取組が付加・実現されているもの
②取組の結果、何らかの成果が明らかになっているもの

区分	評価結果				AA評価の内容	摘要 (主なデータ等)																																																																																																									
	区分	法人	委員会	委員会割合%																																																																																																											
					<p>◎各学部等における特色ある取組</p> <p>【看護学部、研究科】</p> <p>① がん看護専門看護師教育課程の認可 【No.80】</p> <p>「がん看護専門看護師教育課程」が認可され、本研究科としては3つの専門看護師教育課程を認定することができました。</p> <p>【社会福祉学部、研究科】</p> <p>① 専門能力を高める学習の推進 【No.18】</p> <p>西和賀地域での介護福祉士、社会福祉士の実習のほか、コミュニティ大学ワークショップとその企画、「地域まるごと養護事業」、「いのちの学習塾」、本学ボランティアセンターが企画した「Do Nabe Net」への参加を通して地域、NPO、福祉関係者等との交流が深まり、多様な学びの場を開拓することができました。これらへの学生の参加は延べ180人になっています。また、学部内に「西和賀プロジェクト」を立ち上げ、大学祭において「西和賀映画会、シンポジウム」を開催しました。参加者は200人に上りました。</p> <p>【ソフトウェア情報学部、研究科】</p> <p>① 大学・企業・地域の交流の推進 【No.184】</p> <p>第5回いわて情報産業シンポジウム（11月4日開催）を開催し、県内の情報産業及び製造業の企業が参加し、シンポジウムや交流会において活発な意見交換が行われました。</p> <p>首都圏企業就職フォーラム（12月2日開催）、仙台企業就職フォーラム（1月13日開催）を開催し、それぞれ情報産業、製造業等の参加がありました。特に仙台企業就職フォーラムにおいては、開催地を仙台から盛岡（アイーナ）に変更したことにより、学生の参加数が昨年度から大幅に増加しました。</p> <p>これらの取り組みにより、地域毎に企業と大学との活発な交流を実現できました。</p> <p>各地の企業との交流のチャネルを維持するために、いわて情報産業シンポジウム、首都圏企業就職フォーラム、仙台企業就職フォーラム等の枠組みを構築しました。地域社会のニーズと学部のシーズの交流・協調を推進する仕組みが整ったことから、中期計画を達成しました。</p>	<p>○学生定員充足状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立</td> <td>定員</td> <td>1,840</td> </tr> <tr> <td></td> <td>在籍数</td> <td>1,963</td> </tr> <tr> <td></td> <td>充足率</td> <td>106.1</td> </tr> <tr> <td>大学</td> <td>定員</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td></td> <td>在籍数</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td></td> <td>充足率</td> <td>72.0</td> </tr> <tr> <td>短期</td> <td>定員</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>大学部</td> <td>在籍数</td> <td>216</td> </tr> <tr> <td></td> <td>充足率</td> <td>108.0</td> </tr> <tr> <td>宮古</td> <td>定員</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>短期</td> <td>在籍数</td> <td>215</td> </tr> <tr> <td>大学部</td> <td>充足率</td> <td>107.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H21.5.1 運営データ、人・%)</p> <p>○就職の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立</td> <td>県内就職者数</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td></td> <td>割合</td> <td>40.4</td> </tr> <tr> <td>大学</td> <td>県外就職者数</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td></td> <td>割合</td> <td>59.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計(就職者数)</td> <td>349</td> </tr> <tr> <td></td> <td>割合</td> <td>96.9</td> </tr> <tr> <td>盛岡</td> <td>県内就職者数</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>短期</td> <td>割合</td> <td>61.0</td> </tr> <tr> <td>大学部</td> <td>県外就職者数</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td></td> <td>割合</td> <td>39.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計(就職者数)</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td></td> <td>割合</td> <td>92.2</td> </tr> <tr> <td>宮古</td> <td>県内就職者数</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>短期</td> <td>割合</td> <td>65.7</td> </tr> <tr> <td>大学部</td> <td>県外就職者数</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td></td> <td>割合</td> <td>34.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計(就職者数)</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td></td> <td>割合</td> <td>90.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(各年度3月末現在運営データ、人・%)</p> <p>【参考】全国大学等卒業者の就職率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学</td> <td>95.7</td> <td>91.8</td> </tr> <tr> <td>短期大学</td> <td>94.5</td> <td>88.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※大学等卒業者の就職状況調査（文部科学省、厚生労働省）より</p> <p>※各年度4月1日現在</p> <p>※短期大学は女子のみの数値</p>	区分	H20	H21	県立	定員	1,840		在籍数	1,963		充足率	106.1	大学	定員	239		在籍数	172		充足率	72.0	短期	定員	200	大学部	在籍数	216		充足率	108.0	宮古	定員	200	短期	在籍数	215	大学部	充足率	107.5	区分	H20	H21	県立	県内就職者数	141		割合	40.4	大学	県外就職者数	208		割合	59.6		計(就職者数)	349		割合	96.9	盛岡	県内就職者数	36	短期	割合	61.0	大学部	県外就職者数	23		割合	39.0		計(就職者数)	59		割合	92.2	宮古	県内就職者数	44	短期	割合	65.7	大学部	県外就職者数	23		割合	34.3		計(就職者数)	67		割合	90.5	区分	H20	H21	大学	95.7	91.8	短期大学	94.5	88.4
区分	H20	H21																																																																																																													
県立	定員	1,840																																																																																																													
	在籍数	1,963																																																																																																													
	充足率	106.1																																																																																																													
大学	定員	239																																																																																																													
	在籍数	172																																																																																																													
	充足率	72.0																																																																																																													
短期	定員	200																																																																																																													
大学部	在籍数	216																																																																																																													
	充足率	108.0																																																																																																													
宮古	定員	200																																																																																																													
短期	在籍数	215																																																																																																													
大学部	充足率	107.5																																																																																																													
区分	H20	H21																																																																																																													
県立	県内就職者数	141																																																																																																													
	割合	40.4																																																																																																													
大学	県外就職者数	208																																																																																																													
	割合	59.6																																																																																																													
	計(就職者数)	349																																																																																																													
	割合	96.9																																																																																																													
盛岡	県内就職者数	36																																																																																																													
短期	割合	61.0																																																																																																													
大学部	県外就職者数	23																																																																																																													
	割合	39.0																																																																																																													
	計(就職者数)	59																																																																																																													
	割合	92.2																																																																																																													
宮古	県内就職者数	44																																																																																																													
短期	割合	65.7																																																																																																													
大学部	県外就職者数	23																																																																																																													
	割合	34.3																																																																																																													
	計(就職者数)	67																																																																																																													
	割合	90.5																																																																																																													
区分	H20	H21																																																																																																													
大学	95.7	91.8																																																																																																													
短期大学	94.5	88.4																																																																																																													

区分	評価結果				AA評価の内容	摘要 (主なデータ等)																																	
	区分	法人	委員会	委員会評価の割合%																																			
						○産学官連携の状況																																	
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>H20</th><th>H21</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究数</td><td>66</td><td>56</td></tr> <tr> <td>受託研究数</td><td>23</td><td>22</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>89</td><td>78</td></tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、件)</p>	区分	H20	H21	共同研究数	66	56	受託研究数	23	22	合計	89	78																					
区分	H20	H21																																					
共同研究数	66	56																																					
受託研究数	23	22																																					
合計	89	78																																					
						○地域貢献の状況																																	
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>H20</th><th>H21</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公開講座</td><td>51</td><td>53</td></tr> <tr> <td>受講者数</td><td>3,409</td><td>3,072</td></tr> <tr> <td>施設の学外利用者</td><td>7,709</td><td>7,963</td></tr> <tr> <td>図書館</td><td>31,382</td><td>20,588</td></tr> <tr> <td>体育施設等</td><td>16,977</td><td>19,344</td></tr> <tr> <td>アイーナキヤンパス</td><td>994</td><td>831</td></tr> <tr> <td>審議会委員等への就任、講師派遣数</td><td>563</td><td>355</td></tr> <tr> <td>うち</td><td>うち</td><td>うち</td></tr> <tr> <td>行政機関</td><td>133</td><td>124</td></tr> <tr> <td>非常勤講師</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(運営データ、講座・人)</p>	区分	H20	H21	公開講座	51	53	受講者数	3,409	3,072	施設の学外利用者	7,709	7,963	図書館	31,382	20,588	体育施設等	16,977	19,344	アイーナキヤンパス	994	831	審議会委員等への就任、講師派遣数	563	355	うち	うち	うち	行政機関	133	124	非常勤講師		
区分	H20	H21																																					
公開講座	51	53																																					
受講者数	3,409	3,072																																					
施設の学外利用者	7,709	7,963																																					
図書館	31,382	20,588																																					
体育施設等	16,977	19,344																																					
アイーナキヤンパス	994	831																																					
審議会委員等への就任、講師派遣数	563	355																																					
うち	うち	うち																																					
行政機関	133	124																																					
非常勤講師																																							
II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとる措置 「概ね計画どおり」と判断される	AA	0	0.0																																				
	A	5	5	55.6																																			
	B	4	4	44.4																																			
	C	0	0	0.0																																			
	D	0	0	0.0																																			
※AA～B評価割合 100.0%	計	9	9	100.0																																			
	【参考】20事業年度																																						
	AA	0	0.0																																				
	A	15	15	93.8																																			
	B	1	1	6.2																																			
	C	0	0	0.0																																			
	D	0	0	0.0																																			
	計	16	16	100.0																																			

区分	評価結果				AA評価の内容	摘要 (主なデータ等)						
	区分	法人	委員会	委員会の割合%		H20	H21					
III 財務内容の改善に関する目標を達成するためによる措置 「計画どおり」と判断される	AA		0	0.0			○外部研究資金の獲得状況	(運営データ、件・千円)				
	A	1	1	100.0								
	B	0	0	0.0								
	C	0	0	0.0								
	D	0	0	0.0								
	計	1	1	100.0								
	【参考】20事業年度											
	AA		1	11.1								
	A	8	7	77.8								
	B	1	1	11.1								
IV 自己点検・評価・改善及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためによる措置 「概ね計画どおり」と判断される	C	0	0	0.0								
	D	0	0	0.0								
	計	9	9	100.0								
	【参考】20事業年度											
	AA		1	11.1								
	A	7	6	66.7								
	B	1	1	11.1								
	C	1	1	8.3								
	D	0	0	0.0								
	計	9	9	100.0								
V 施設設備の整備、安全管理等の目標を達成するためによる措置 「概ね計画どおり」と判断される	【参考】20事業年度											
	AA		0	0.0								
	A	5	5	83.3								
	B	1	1	16.7								
	C	0	0	0.0								
	D	0	0	0.0								
	計	6	6	100.0								
	【参考】20事業年度											
	AA		0	0.0								
	A	11	11	91.7								

区分	評価結果				AA評価の内容	摘要 (主なデータ等)		
	区分	法人	委員会	委員会評価の割合%				
VI 予算、収支計画及び資金計画	AA		0	0.0				
	A	3	3	75.0				
	B	1	1	25.0				
	C	0	0	0.0				
	D	0	0	0.0				
	計	4	4	100.0				
VII 短期借入金の限度額	【参考】20事業年度							
	AA		0	0.0				
	A	1	2	66.7				
	B	1	0	0.0				
	C	1	1	33.3				
	D	0	0	0.0				
VIII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画	計	3	3	100.0				
	【参考】20事業年度							
	AA		0	0.0				
	A	1	2	66.7				
	B	1	0	0.0				
	C	1	1	33.3				
IX 剰余金の使途	D	0	0	0.0				
	計	3	3	100.0				
	【参考】20事業年度							
	AA		6	3.9				
	A	131	124	81.0				
	B	21	22	14.4				
X 岩手県地方独立行政法人法施行細則で定める業務運営に関する事項	C	1	1	0.7				
	D	0	0	0.0				
	計	153	153	100.0				
	【参考】20事業年度							
	AA		15	6.5				
	A	210	194	83.6				
「概ね計画どおり」と判断される	B	12	11	4.7				
	C	10	12	5.2				
	D	0	0	0.0				
	計	232	232	100.0				
	【参考】20事業年度							
	AA		6	3.9				
※AA～B 評価割合	A	131	124	81.0				
	B	21	22	14.4				
	C	1	1	0.7				
	D	0	0	0.0				
	計	153	153	100.0				
	【参考】20事業年度							
合 計	AA		15	6.5				
	A	210	194	83.6				
	B	12	11	4.7				
	C	10	12	5.2				
	D	0	0	0.0				
	計	232	232	100.0				

【別表3】自己評価から評価が変更になった項目及びその理由

【評価基準】			
A:計画どおりに進んでいる。(計画達成)			
B:おおむね計画どおりに進んでいる。(8割以上～10割未満)			
C:やや遅れている。(6割以上～8割未満)			
D:重大な改善事項がある。(6割未満)			

平成21事業年度評価結果					
中期計画	年度計画	計画の進行状況等	自己評価	評価委員会評価	変更理由
○ユニフィケーションをも考慮に入れながら、臨地実習指導の充実強化を一層進めます。	岩手県医療局と人事交流を行い、実習指導者の強化を図ります。また、実習指導に関する検討プロジェクトを設置し、着手します。	人事交流については、医療局から本学部への派遣という形での実施を検討しています。また、本学部の推薦で、医療局職員が文部科学省の実習指導者研修に派遣をしました（4年間継続）。 実習指導に関する検討については、県立中央病院との勉強会を、それまでの年1回から、年3回に拡大し、効果的な実習について学習を深めており、さらに、「ヒヤリハットを共有しよう」をテーマに教員の勉強会を実施し、学生の「インシデント・アクシデントレポート」についても整備しました。 平成22年1月7日には外部講師を招き「経験型実習教育の考え方と実際」のテーマでFD活動を実施しました。 これまでの取り組みにより、実習施設とのユニフィケーションの仕組みも確立し、中期計画を達成しました。	A	B	実習指導に関する検討が行われ、県立中央病院との勉強会、FD活動やレポートの整備など、実習指導を充実強化させるための効果的な取組が行われているが、計画に掲げた、実習指導者の強化を目的とした県医療局との人事交流は制度的な問題があるしながらも実現に至っておらず、「計画どおり進んでいる」(A:「計画を達成した」とまでは認められないため。(B:8割以上～10割未満)
○各部局、大学組織における評価システムの継続的な見直しを行います。	認証評価の取組みにより抽出された課題について、全学的な検討を行って改善を推進します。	認証評価の受審の結果、総評又は助言事項として指摘された課題のうち、「大学院の学則に人材養成の目的を記載すること」や「履修登録の上限を設定すること」等については、直ちに改善を図りました。また、他の課題についても、平成21年度中に改善の取組に着手しました。 認証評価の助言事項に対する評価機関への改善報告は、当初予定した平成24年度を23年度に前倒しすることとしたため、現在の中期目標期間内に確実に改善を図る必要があることから、平成21年度末に各部局の進捗状況と平成22年度の対応方針を報告させ、全学をあげて改善に向けた取組を推進しました。	B	A	改善の取組を進め、着実にPDCAサイクルを機能させており、また、助言事項に対する改善報告を前倒しで進めていることは、「計画どおり進んでいる」と認められるため。
○教員の業績評価の結果については、研究資金の重点配分等のインセンティブ付与制度の確立を図ります。	前年に引き続き「評価制度検討チーム」において教員の評価制度の検討を進め、制度（案）を人事制度改革本部へ報告します。	「評価制度検討チーム」による全学教員に対する意識調査を実施し、その結果を人事制度改革本部へ報告するとともに、全学のホームページで公表しました。	A	B	評価制度検討チームによる意識調査が行われ、制度案の方向性を打ち出し、検討に着手しているが、未だ検討中であり制度案の人事制度改革本部への報告には至っていないことから「計画どおり進んでいる」(A:「計画を達成した」とはまで認められないため。(B:8割以上～10割未満)

※ユニフィケーション:連携。特に看護においては看護サービスと教育ならびに研究の責任を一つの管理組織に所属させることを意味する。